EIDAI

桧家オリジナル キッチンウォールキャビ

取扱説明書

このたびは、キッチンウォールキャビをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

キッチンウォールキャビを正しくお使いいただくために、ご使用になる前に本説明書をよく読んで正しくお使いください。

このキッチンウォールキャビは、一般住宅用の製品ですので業務用には使用しないでください。お読みになったあとは必ず大切に保管してください。

保証書付

もくじ

■1. 安全上のご注意 ..... 2~3
■2. 各部のなまえ 4
■3. キャビネット ..... 5~8
■4. 扉 ..... 9~10
■5. 家電収納 ..... 11~12
■6. こんなときには?! 13
■7. アフターサービス 14

1 安全上のご注意 [必ずお守りください]

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。

⚠ 警 告	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注 意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」をいう。

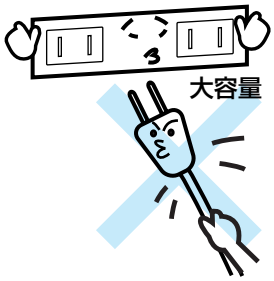
■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

⚠ 警 告

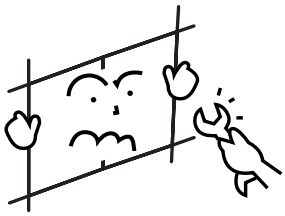
電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具は使わないでください

たこ足配線などで容量をこえて使用すると電源コンセント部が発熱し、火災の恐れがあります。



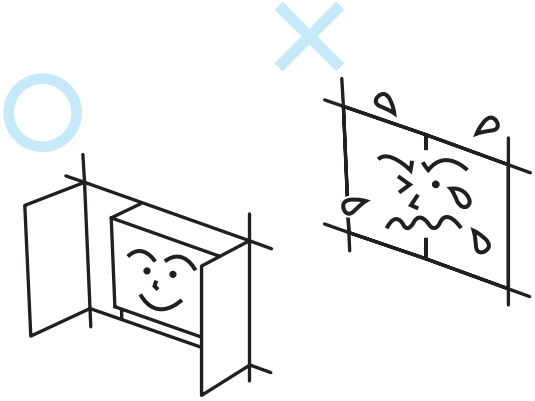
絶対に分解・修理は行わない

ケガや故障、事故の原因となります。
修理は購入店へご相談ください。



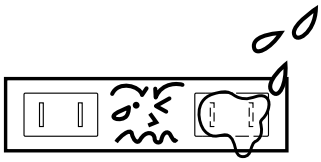
家電収納使用時は必ず扉をあけてください

扉を閉じたまま調理すると、キャビネットや機器の破損、過熱や漏電により火災が起こる可能性があります。



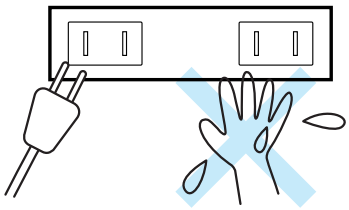
コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。



濡れた手でコンセントや電源プラグに触れない

感電の恐れがあります。



⚠ 警告

組み込まれる機器については、機器に添付されている取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。

※保証期間、内容についても各機器に付いている保証書をご確認ください。

⚠ 注意

棚板の棚受けダボは、確実にセットしてください
棚板には、転がりやすい物や重い物を載せないでください

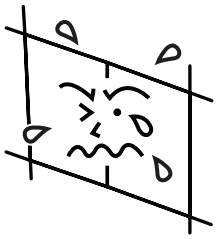
棚板がたわんだり、落下する恐れがあります。
各部材の耐荷重については
7ページを参照ください。

扉が傾いたり、ガタついているときは、蝶番のビスを締めなおしてください

扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。
10ページのビス㋑ ㋺をしっかり固定してください。

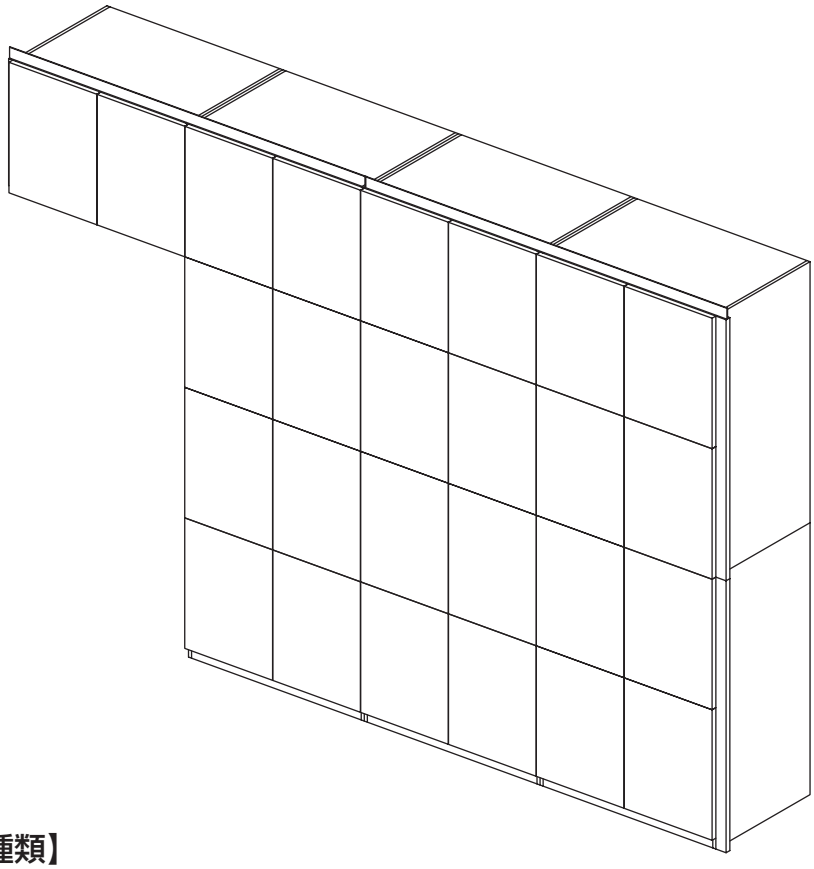
家電収納使用後は、キャビネットや機器を充分に放熱・乾燥させてください

扉を開けたままにし、機器による熱や
水蒸気を出してから扉を閉めてください。

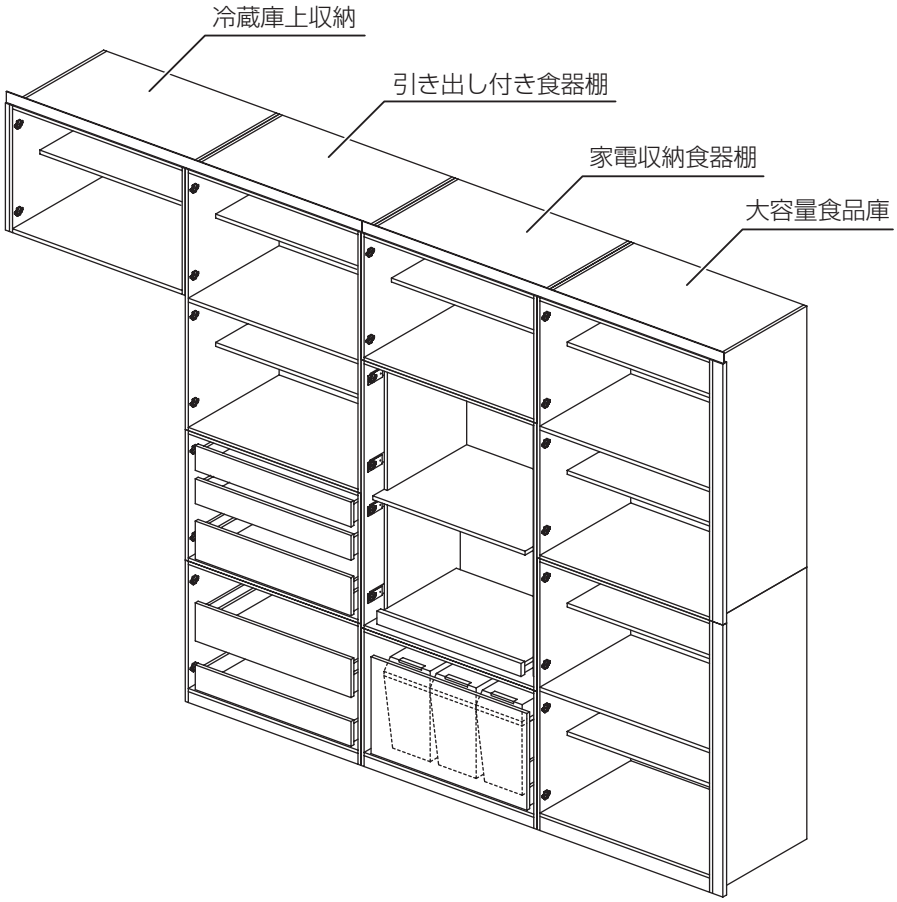


2 各部のなまえ

【プラン例・製品外観図】



【プラン例・製品種類】

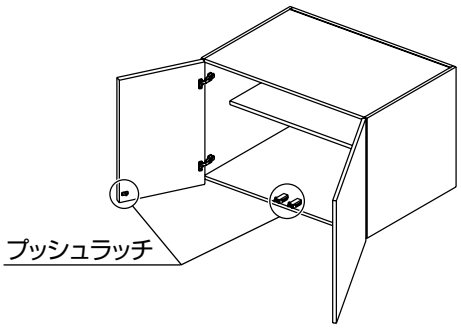


3 キャビネット（キャビネット・引き出し）

使い方

プッシュラッチの周辺部を押して扉を開閉してください

プッシュラッチはキャビネットの上部に取り付いているものと下部に付いているものがあります。



使用上の注意

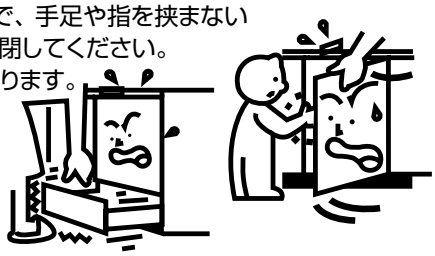
⚠注意

扉を無理に開けたり、閉めたりしない

扉は必ず扉を押して開けてください。無理に開けようとすると部品の破損や扉の開閉に支障をきたす恐れがあります。
扉を閉める時は手を添えて閉まったのを確かめてください。
また、強い力で押し込んだり乱暴に扱わないでください。

引き出しや扉の開閉に注意

扉・蝶番や引き出しで、手足や指を挟まないように気をつけて開閉してください。
ケガをする恐れがあります。
特に、お子様にはご注意ください。

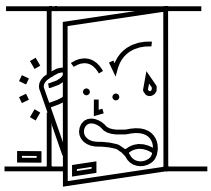


扉や引き出し、取っ手に乗らない

扉や引き出し、取っ手に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
蝶番やレールがこわれると落下してケガをする恐れがあります。
特に、お子様にはご注意ください。

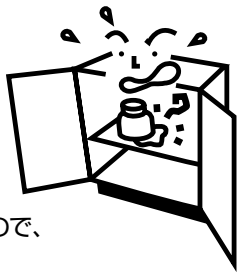
扉が完全に閉まらないような収納はしない

収納物が落下しケガをする恐れがあります。



汚れたままにしない

油・調味料など食品の汚れは、サビや腐食、カビの原因となりますので早めに拭き取ってください。



ぬれたままにしない

木部が水を含み傷んだり、レールや蝶番が錆びる恐れがありますので、しっかり拭き取ってください。

扉を大きく開けすぎない

扉がはずれて、ケガをする恐れがあります。

重い物を載せない

変形や破損の原因となります。
載せすぎたり、1カ所に集中させないで平均して載せてください。
各部材の耐荷重については7ページを参照ください。
破損してケガの恐れがあります。

使用上の注意

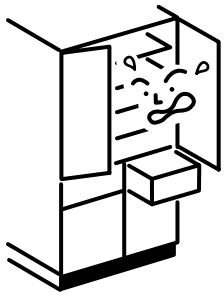
⚠注意

引き出しを開閉する際は、扉が完全に開いた状態を確認してください

扉と引き出しが干渉し、キズが付く恐れがあります。

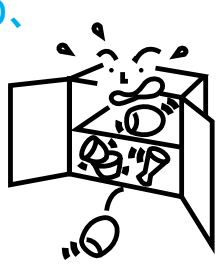
上下の扉や引き出しを同時に開けない

扉と引き出しを同時にあけると扉が干渉し、キズが付く場合があります。



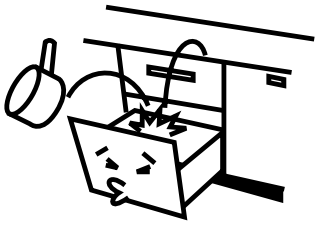
転がりやすい物を入れたり、不安定な積み方をしない

収納物が転がり落ちてケガをしたり、破損の原因となります。



キャビネットにかたい物を落とさない、ぶつけない

キズがついたり、破損したりする恐れがあります。



収納物が入ったまま引き出しを外さない

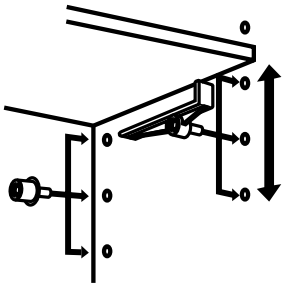
収納物が落下してケガをする恐れがあります。

スライドカウンターには熱い鍋、重量物、包丁などを載せない

やけど・ケガの恐れがあります。

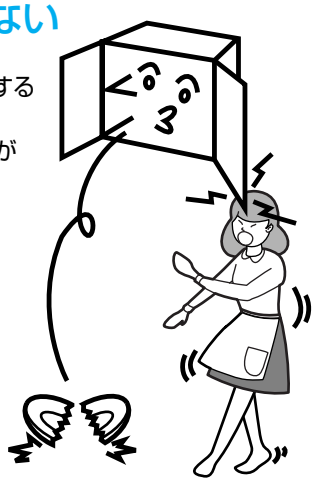
棚受けダボはしっかり差し込む

棚板は可動式です。
棚板を外し、棚受けダボをお好みの位置に移動してください。
棚受けダボはすき間のないように奥まで差し込んでください。
棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。



扉を開けたままにしない

頭をぶつけてケガをしたり、収納物が落下して、破損やケガをする恐れがあります。
※家電収納については、使用方法が異なりますので、11ページを参照ください。



使用上の注意

⚠注意

重量規定を守る

●引き出し
フルオープンレールタイプ
…耐荷重は20kgです

▼重量のめやす

ざるセット（大・中・小）	約0.7kg
ボウルセット（大・中・小）	約0.8kg
寸胴鍋	約3.5kg

●スライドカウンター
…耐荷重は15kgです

両手鍋（大）	約2.0kg
両手鍋（中）	約1.5kg
フライパン（直径25cm）	約1.0kg

●キャビネット
棚板、底板…耐荷重は20kgです

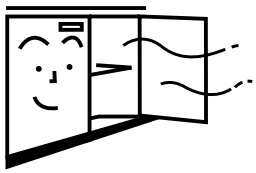
大皿	（直径35cm）	約1.0kg
中皿	（直径25cm）	約0.5kg
小皿	（直径16cm）	約0.2kg

お手入れ方法

●中の物を取り出して、掃除機かほうきを使って隅々までゴミを取ります。
●薄めて作った台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。
その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、
最後に乾拭きをしてください。
※油・調味料・食品の汚れを放置していると、
サビや腐食、カビの原因になりますので早めに
拭き取ってください。

湿気・臭気対策

湿気がこもりやすい場所なので、
時々扉を開けて、換気をよくしましょう。
消毒用エタノールを含んだ、
固く絞った布で拭いてください。
特に、ダストボックスが収納されている
キャビネットは、よく換気してください。



お手入れ上の注意

⚠注意

ぬれたままにしない

湿気がこもるとカビや臭気の原因となります。
また、引き出しレールや蝶番などのサビの原因
にもなります。
水拭きした後は必ず乾拭きし、
乾くまで扉は開けておきましょう。

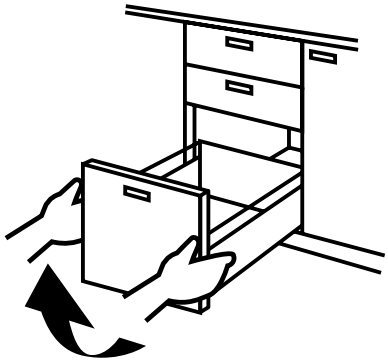
使用してはいけないもの

●アセトン、シンナーなどの溶剤
●研磨剤の入った洗剤などは
表面を傷めます。

引き出しの調整方法

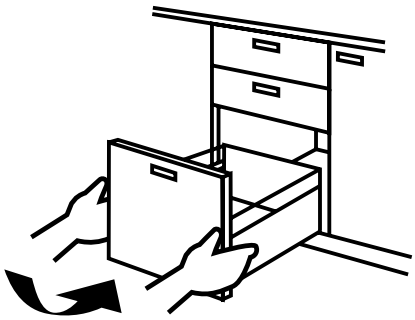
外し方

引き出しをストッパーに当たるまで引き、
持ち上げるように引き上げてください。



取り付け方

引き出しを持ち上げ、ストッパーの奥に下ろすように
して入れてください。
レールの上に引き出しを正しく載せ
（カチャという音がします）、入れてください。引き出して、
ストッパーがかかることを確認してください。

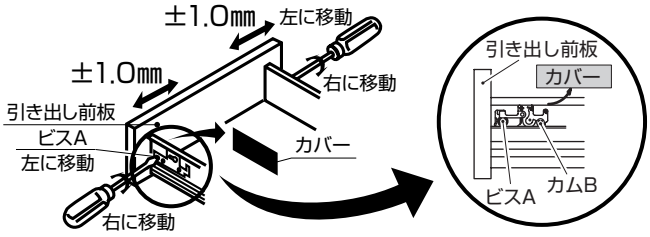


調整方法

目地が揃っていない…（左右調整）

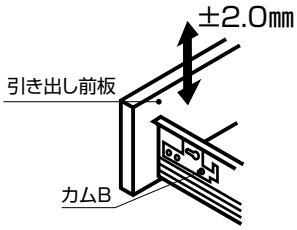
①カバーを外します。

②ビスAを回して前板の左右位置を調整します。



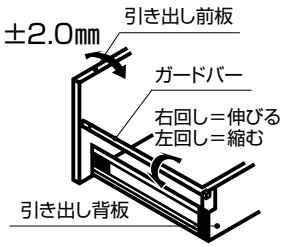
上下が揃っていない…（上下調整）

カムBを回して前板の上下の位置を調整します。



しっかり閉まらない…（前後調整）

ガードバーを回して傾きを調整します。



4 扉

使用上の注意

⚠注意

ぬれたり汚れたままにしない

ぬれたままでは、表面材がはがれたり、扉が膨れたりする原因となります。
また、汚れたままではシミなどの原因となります。
すぐにしっかりと拭き取ってください。

ぶら下がったり、乗ったりしない

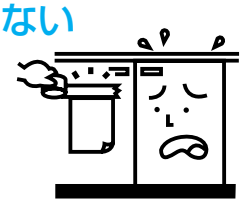
蝶番やレールがこわれると落下してケガをする恐れがあります。
特に、お子様にはご注意ください。

やさしく開閉する

扉は軽く開閉できますので、あまり強い力を入れずに開閉してください。
扉を開閉する時は周囲の物に当てないように気を付けてください。

シールやテープ類を貼らない

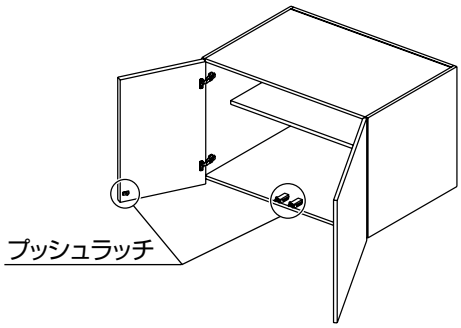
粘着剤で表面が侵されます。
また、はがした後、汚れが残る恐れがありますので貼らないでください。



使い方

プッシュラッチの周辺部を押して扉を開閉してください

プッシュラッチはキャビネットの上部に取り付いているものと下部に付いているものがあります。



お手入れ方法

ちょっとした汚れは…

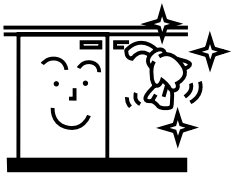
柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れが気になる…

固く絞った布で拭いた後、乾拭きします。

しつこい汚れは…

薄めて作った台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。
その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。



お手入れ上の注意

⚠注意

洗剤を拭き残さない

洗剤が扉に付着したまま放置されると、表面がはがれたり、扉が膨れたりする原因となります。付着した洗剤は水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。

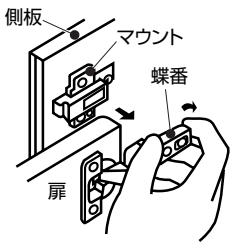
塩素系洗剤・漂白剤・溶剤などを使わない

塩素系洗剤・漂白剤、シンナーなどの溶剤、研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。
変色や光沢をなくしたり表面を傷つけます。

調整方法

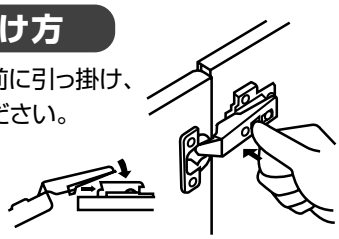
扉の外し方

扉をしっかり支えながら、
蝶番の後側のツメを
引いてください。
扉が外れます。



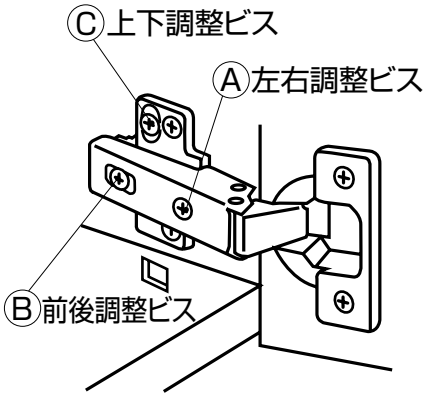
扉の取り付け方

蝶番をマウントの手前に引っ掛け、
後側を押し込んでください。



扉の調整

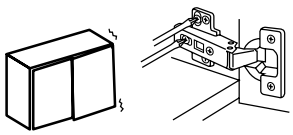
扉に段違いが生じたり、ガタついたら、
図の要領で調整してください。



※ ⒶⒷⒸ以外は固定ビスになります。

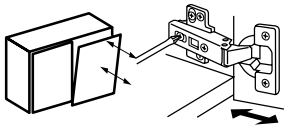
ガタついている…

Ⓑ・Ⓒを固く締め付けます。
また、ⒶⒷⒸ以外の固定ビスも
しっかり固定してください。



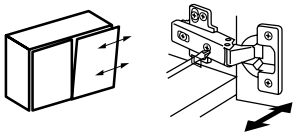
しっかり閉まらない…（前後調整）

扉を取り付けた後Ⓑを緩めて
前後調整をし、締めなおします。



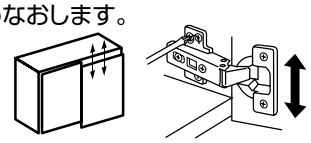
目地が揃っていない…（左右調整）

Ⓑの固定ビスを締めたまま
Ⓐを回して左右調整をします。



上下が揃っていない…（上下調整）

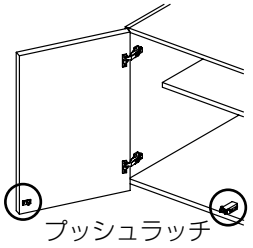
Ⓒを緩めて扉ごと上下調整したあと、
締めなおします。



※家電収納の扉については、家電収納のページ（11・12ページ）を参照ください。

プッシュラッチの調整

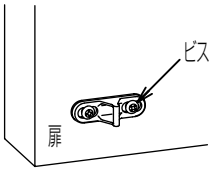
※扉自体がずれていたり、ラッチの調整範囲を越えている場合は扉の調整を行ってください。



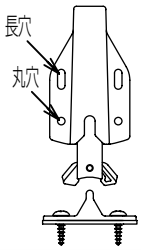
※キャビネットの上部に取り付いているものと
下部に付いているものがあります。

ツメの調整（上下調整）

一旦ビスを外して位置を合わせ、
締めなおします。



ラッチ本体の調整（前後調整）

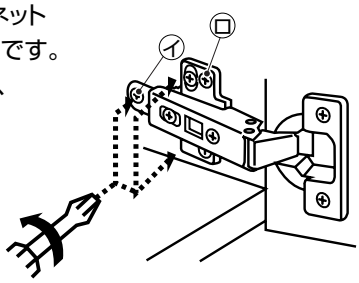


①丸穴のビス２ヶ所を外します。
②長穴のビス２ヶ所を緩め、
前後調整をしてビスを
締めなおします。
③丸穴のビス２ヶ所を
締めなおします。

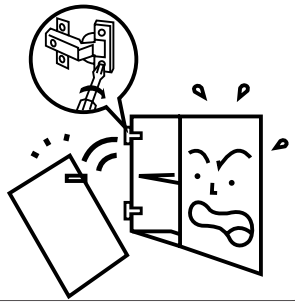
調整上のお願い

⚠ 注 意

ビス ㋑・㋺ は扉とキャビネット
本体を固定する重要なビスです。
扉のガタつきのないように、
しっかり固定してください。



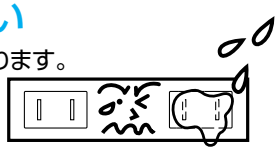
上記ⒶⒷⒸ以外のビスは
絶対に緩めないでください。
緩めるとビスの
保持力がなくなり、
扉が落下してケガをする
恐れがあります。



⚠警告

コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。

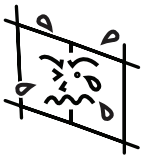


スライドカウンター上で高温になるものは使用しない

トースター、魚焼き器、ホットプレートなど使用時に高温になるものをスライドカウンター上で使用しないでください。火災の恐れがあります。

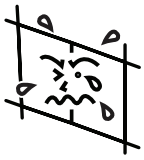
家電収納使用時は必ず扉をあけてください

扉を閉じたまま調理すると、キャビネットや機器の破損、過熱や漏電により火災が起こる可能性があります。



炊飯器や電子ポットの保温や予約調理時も必ず扉をあけてください

扉を閉じる際は、全てのコンセントを抜き、意図しないポットの再沸騰やタイマーをセットした炊飯がないようにしてください。



使用上の注意

⚠注意

蒸気排出ユニットは製品に添付されている取扱説明書および本体の注意表示をよく読んで使用する

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。

カウンターを引き出す際は、ゆっくりと引く

勢いよく引くと、電化製品などが転倒する恐れがあります。

電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具は使わない

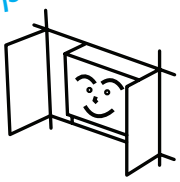
容量をこえて使用すると電源コンセント部が発熱し、火災の恐れがあります。

カウンターをしまう際は、電源コードを挟まないように注意する

断線し火災の原因になることがあります。

家電収納での調理後は、キャビネットや機器を充分放熱・乾燥させてください

扉をあけたままにし、機器による熱や水蒸気を出してから扉を閉めてください。



調理汚れや水滴は速やかに拭き取ってください

スライドカウンターには熱い鍋、重量物、包丁などを載せない

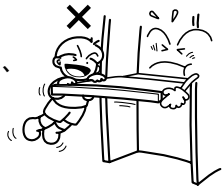
やけど・ケガの恐れがあります。

扉は90度に開いてから中へ収納してください

扉の開き角度が少ないと、扉と金具が干渉し、キズ破損の恐れがあります。

のったりしない

スライド棚を引き出した状態のときは、スライド棚に寄りかかったり、登ったり、ぶらさがったり、腰かけたり、ぶつからないようにご注意ください。ケガをする恐れがあります。



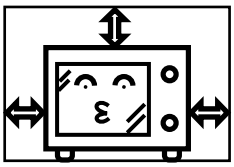
手を挟まないように注意する

特殊な蝶番を使用しているため、他の扉と扉開閉の動きが異なります。開閉動作時に手などを近づけると指を挟んだりケガをする恐れがあります。

電子レンジなどを置く場合は、天面、後面、両側面に器具指定の空間を設けてください。

離隔距離がないと、給排気が充分にできず、加熱して発火する恐れや故障の原因になります。
それぞれの機器に添付されている取扱説明書および本体の注意表示を必ずご覧ください。

離隔距離を充分取ってください。

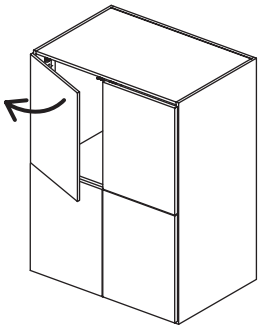


使い方

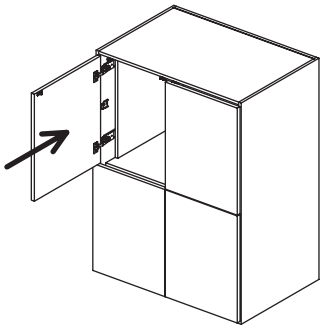
扉の開閉方法について

● 開く

①扉を90度開いてください

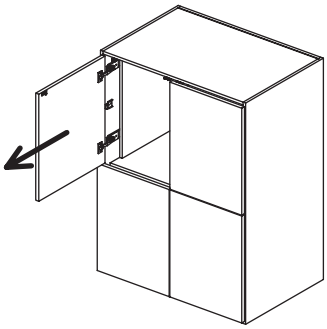


②扉を中へ収納してください。

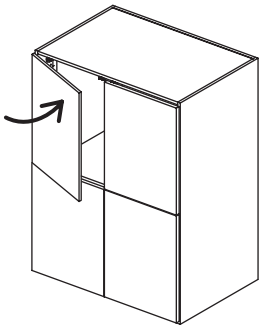


● 閉じる

①カチッというまで扉を引っ張ってください。



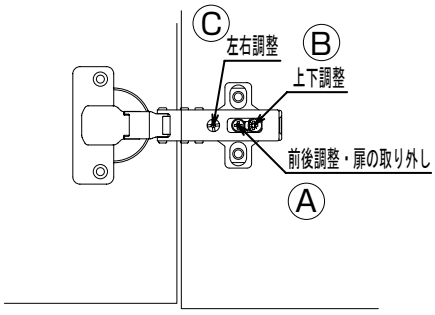
②扉を閉めてください。



調整方法

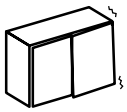
扉の調整

扉に段違いが生じたり、ガタついたら、図の要領で調整してください。



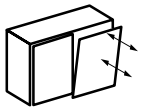
ガタついている…

Ⓐを固く締め付けます。
また、ⒶⒷⒸ以外の固定ビスもしっかり固定してください。



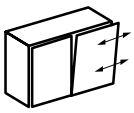
しっかり閉まらない…（前後調整）

扉を取り付けた後Ⓐを緩めて前後調整をし、締めなおします。



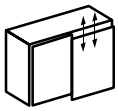
目地が揃っていない…（左右調整）

Ⓐの固定ビスを締めたままⒸを回して左右調整をします。



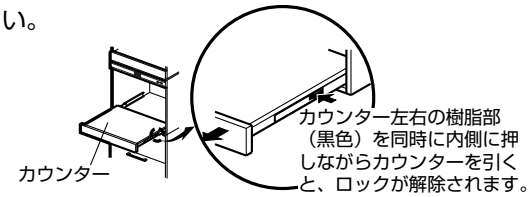
上下が揃っていない…（上下調整）

Ⓑを回して上下調整をします。



スライドカウンターの外し方・取り付け方

サイドレールの樹脂製ストッパーを左右共に押さえながら引き出せば簡単に外れます。取り付ける場合は、サイドレールに差し込んでスライド棚を奥まで押し込んでください。確実に収まっているかご確認のうえご使用ください。
スライド棚が重いため、落ちると危険ですのでご注意ください。



6 こんなときには？!

修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

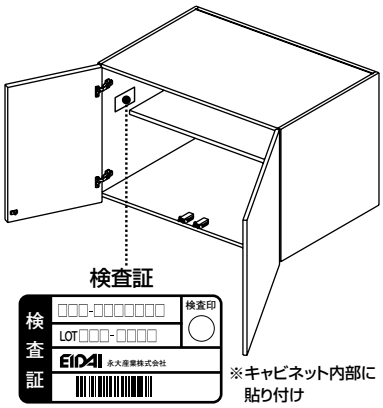
このようなとき	よくある例	ここをお調べください
扉がガタつく	● 蝶番のビスが緩んでいる。 ● 蝶番のビスが空回りをする。	●ビスを締めなおしてください。（10・12ページ参照） 強く締めすぎないようにしてください。 ●ビス穴へマッチ棒やつま楊枝を接着剤と共に埋め、再度ビスを閉めてください。
扉がギーギーと鳴る	●潤滑油不足。	●蝶番の軸へミシン油を差してください。 差し過ぎると他のトラブルとなりますのでご注意ください。
扉が下がる	●ビスが緩んでいる。	●蝶番マウントの上下調整ビスで再調整し、ビスを締めなおしてください。 （10・12ページ参照） 強く締めすぎないようにしてください。

7 アフターサービス

■ 異常が発生した場合の使用はやめてください。「こんなときには?!」を見て、もう一度ご確認ください。それでも不都合な場合は被害拡大しないよう、電気機器の場合は電源をOFFにしてからアフターサービスを依頼してください。

■ アフターサービスを依頼される場合や、不明な点のご相談は、右図のラベルを確認のうえ、まず、販売会社・管理会社もしくはお求めの工務店・販売店へお問合せください。

■ 相談先が不明の場合は、弊社お客様相談センターへお問合せください。



お客様相談センター

フリーダイヤル 0120−685−110 受付時間 平日 9:00~19:00 土曜日 9:00~18:00 休業日 日曜日、祝日、年末年始

●蒸気排出ユニットの修理は、取扱説明書に表示している「フリーダイヤル」をご利用ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　　名	桧家オリジナル　キッチンウォールキャビ
型　　名	
販売店様名	
引き渡し日	年　月　日
故障の状況	
ご　住　所	
お　名　前	
電話番号	
訪問希望日	

※おことわり
●製品の仕様や掲載内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
●扉など天然の材料を使用しているものについては、同色・同柄の同一部材を供給することができませんので、その節にはご容赦願います。
●保証内容、期間については、裏表紙に記載されている保証書をご確認ください。

交換部品など

交換部品はお買い上げ販売店にお問い合わせください。

メモ

保証書

保 証 書

品 名　　品 番

★お客様のお名前

様

★ご住所　〒　　★電話番号（　　）　　－

保証期間

※引き渡し日　　年　　月　　日から

2年間

（ただし、組み込み機器は別途添付されている保証書によります。）

取り扱い販売店名、住所、電話番号

★印、※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

記

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
引き渡し日から上記保証期間中に、対象製品において取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの注意内容に従い、使用及び維持管理を行っていた状態で自然不具合が発生した場合、本書記載内容にもとづき、無料修理いたしますので、お取り扱いの施工店または販売店に修理をご依頼ください。また修理に際して本書をご提示ください。

●保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

1. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合
2. 車両・船舶、業務用、病院や施設など、一般住宅以外に使用した場合の不具合
3. 当社が定める取付説明書等に基づかない取り付け、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4. 使用上の不注意・故意・過失または不当な修理や改造による不具合
5. 使用者または第三者の不適切な使用または維持管理に起因する不具合
6. 建築躯体、関連設備工事など製品以外の不具合に起因する不具合
7. 経年変化または使用に伴う磨耗、さび、かび、変質、変色、反りなどの不具合
8. 消耗部品（電球やパッキンやシーリングなど）の取り替え及び保守
9. 指定外の消耗品の設置または使用に起因する故障及び損傷
10. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
11. 漏水、結露等による長時間高湿度状態で放置された場合などの室内環境や自然現象に起因する不具合
12. 犬、猫、鳥、鼠などの小動物や昆虫などの行為に起因する不具合
13. 納入後、1年以上経過した場合の虫害
14. 火災・爆発などの事故、落雷・凍結・地震・噴火・洪水・津波などの天災地変及び公害、塩害、ガス害、異状電圧、使用電源(電圧、周波数)などによる不具合
15. 修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、不具合の存在を確認できなかった場合
16. 部品交換を伴わない調整、その他手直し修理、保守、点検、検査、作業
17. 製造時に実用化されていた技術では予測不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
18. メーカーがリコール宣言を行った後の、リコール部品及びリコール部位に起因する本製品の故障及び損害
19. 取り付け完了時に申し出がなかったキズなどの不具合
20. 取り付け後の移設等に起因する故障及び損傷
21. 砂やごみかみによる不具合及びパッキン・シーリング等消耗品の損傷
22. 戦争、暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
23. 国または公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損害
24. その他、当該不具合の発生が当社の責によらない場合

●離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
●ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
●本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan
●本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
●キッチンに組み込まれる設備機器などについては、それぞれに添付されている保証書の内容をご確認ください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げいただいた販売店もしくは、弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

永大産業株式会社
http://www.eidai.com
住設事業部

お客様相談センター
0120-685-110
受付時間 平日 9:00~19:00 土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、年末年始
E-mail : cs@eidai-sangyo.co.jp

T125Jhi1504hpHP第2版